

令和5年度過疎地域持続的発展優良事列表彰における総務大臣賞の受賞について

総務省及び全国過疎地域連盟による「令和5年度過疎地域持続的発展優良事列表彰」において、「一般社団法人 筆甫地区振興連絡協議会」が総務大臣賞を受賞しました。本県における総務大臣賞の受賞は平成27年度以来、4例目となります。

なお、表彰式は令和5年10月26日に富山県で行われる「全国過疎問題シンポジウム 2023 in とやま」で行われます。

1 表彰の概要

- (1) 実施主体 総務省・(一社) 全国過疎地域連盟 (※)
- (2) 概要 地域の持続的発展と風格の醸成を目指し、過疎地域において課題の解決に取り組む、創意工夫が図られている優良事例に対して、「総務大臣賞」又は「全国過疎地域連盟会長賞」が贈られる。

2 受賞者

- (1) 団体名 一般社団法人 筆甫地区振興連絡協議会
- (2) 活動拠点 丸森町筆甫地区
- (3) 代表者 代表理事 庄司 一郎
- (4) 活動内容 平成22年度に丸森町から筆甫まちづくりセンターの指定管理を受けたことを契機に、地区住民自らが住み慣れた地域で安全・安心に自分らしく暮らすことができる地域社会の構築を目指し事業を開始した。

地域の重要課題であった獣害対策としてイノシシ対策、高齢者の困りごとを解決する「お助け隊」、特産品である「へそ大根」のブランド化、買い物弱者対策として店舗の開設、ガソリンスタンドの事業承継など、暮らしやすい地域を地区自らがつくり続け、「地域の自立」や「持続可能な社会の形成」を具現化している。

3 取材対応等

取材を行う場合や、写真データの提供が必要な場合は、担当課宛て御連絡願います。担当課において、日程調整、データの提供に係る確認等を行います。

4 活動風景（転載不可）



地区内を巡回する移動販売



「へそ大根」づくり



イノシシ対策